



野村 万作



野村 萬斎



野村 裕基

語 奈須与市語
なすのよしちのかたり

狂言 泣 尼
なき あま

狂言 寝音曲
ねおんきょく

謡を所望された太郎冠者は、酒や膝枕を条件にしてもつたいをつける。主人は願いをかなえ、寝かせて謡わせるが、今度は起きて謡うよう命じられ、太郎冠者はさらに言い訳を重ねることに……。高額の布施に引かれ説法を引き受けた僧は、下手を補つため泣き役の尼を連れて行く。だが説法の最中、肝心の場面で尼が居眠りし、思惑が外れて騒動となつてしまふ。

万作、萬斎、裕基の狂言三代！

六五〇年以上の歴史を誇る、日本古来の伝統芸能。芸を極めた人間国宝・野村万作と、多彩な才能をもつ野村萬斎が、室町時代から続く日本最古の喜劇「狂言」の世界へと誘います。

笑いと語り、それぞれの魅力を楽しめる多彩な演目をお楽しみください。

野村万作 新狂言の会



撮影：政川慎治



撮影：政川慎治

2026. 7/2 木

開場 18:30
開演 19:00

黒部市国際文化センター
コラーレ (野外能舞台)

一般5,500円 高校生以下1,000円 障がい者手帳をお持ちの方4,500円

■プレイガイド：コラーレ、チケットぴあ (Pコード 541-355) チケット一般発売日/5月10日(日)9:00~

- 当日は18時20分に、チケットの「整理番号」順に整列の上、順次ご入り場いただきます。
- 未就学児の入場はご遠慮願います。公演中、未就学児を対象とした「一時保育(無料)」を実施しています。公演10日前までにお申し込みください。
- 雨天が予想される場合は雨合羽等をご用意ください。天候によっては、会場がカーターホールに変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 車椅子の方、補助犬をお連れの方、体の不自由な方は、座席の相談を承りますので、コラーレまでお問い合わせください。
- この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。

主催/公益財団法人黒部市国際文化センター 共催/チューリップテレビ 後援/黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社

●お問い合わせ● 黒部市国際文化センターコラーレ 〒938-0031 富山県黒部市三日市20番地
TEL.0765-57-1201 info@colare.jp https://www.colare.jp/



ホームページ公式サイト



LINE公式アカウント

野村万作

新狂言の会

万作、萬斎、裕基の 狂言三代！

解説

内藤 連

狂言

寝音曲

太郎冠者

野村 萬斎

主 野村 裕基

後見 月崎 晴夫

語

奈須与市語

中村 修一

後見 飯田 豪

狂言

泣尼

僧 野村 万作

施主 深田 博治

尼 高野 和憲

後見 内藤 連

〔演目紹介〕

ねおんぎょく

寝音曲

主人に謡を所望された太郎冠者は、いつも謡わされてはかなわないので、酒を飲まなければ声が出ないとか、妻の膝枕でないと謡えないなどと言ってもつたいをつける。どうしても謡が聞きたい主人は、太郎冠者に酒を飲ませ、自分の膝に寝かせて謡わせる。上手に謡った太郎冠者は、今度は起き上がって謡うよう命じられるが……。

太郎冠者と主人のとぼけたやりとりが楽しい、太郎冠者狂言の代表曲です。情趣溢れる「大原木」や、勇壮でドラマチックな「海人玉ノ段」など、次々に登場する狂言小舞謡も聞き応えがあります。

なすのよいちのかたり

奈須与市語

能「八島」の間狂言の特殊演出として演じられる語りで、奈須与市が扇の的を射た有名なエピソードを仕形話にしたもの。狂言の代表的な秘伝で、能とは別に単独でも演じられます。奈須与市・源義経・後藤兵衛実基などの人物を一人で演じ分ける華やかな仕形は、観る者を引き込まずにはいられません。

なきあま

泣尼

親の追善のために堂を建立した田舎者が僧に説法を頼みに来る。高額な布施につられて引き受けた僧だが、実は説法があまり上手くない。下手な説法を引き立たせようと、いつも泣き役として雇っている涙もろい尼を連れて行くことにする。準備万端整い説法が始まるが、肝心な時に尼が居眠りを始め……。

説法の場面では客席も聴衆に見立てられる形になりますので、ぜひ皆さんも耳を傾けてみてください。僧と尼の有り様に、狂言の鋭い風刺的な視点が感じられる曲です。

野村万作

狂言師

一九三一年生。重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）、文化功労者、日本芸術院会員。文化勲章受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を滲せる、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、NHK放送文化賞等多数の受賞歴を持つ。狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。二〇二五年八月、初のドキュメンタリー映画『六つの顔』が全国公開された。

野村萬斎

狂言師

一九六六年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台「敦・山月記・名人伝」・「子午線の祀り」「ハムレット」、能狂言「鬼滅の刃」「日出処の天子」など、古典の技法を駆使した作品の演出で幅広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞大賞、坪内逍遙大賞等を受賞。石川県立音楽堂アーティスト・クリエティブ・ディレクター。東京藝術大学・日本大学芸術学部客員教授。（公社）全国公立文化施設協会会長。

野村裕基

狂言師

一九九九年生。野村萬斎の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶應義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。「イデア狂言」主宰。三歳の時に「靉猿」で初舞台後、子方として国内外で多数の舞台に出演、修業を続け、「三番叟」「奈須与市語」「釣狐」を披く。世田谷ハブリックシアター「ハムレット」、能狂言「鬼滅の刃」で重要な役を演じ、活動の場を広げている。朝日カルチャーセンターや全国各地の狂言ワークショップで講師を務め、狂言の普及にも力を注いでいる。